

かざね
 四万十の風音

しんせん
 森&川だより



「滑床山開き」で松野東小学校、松野西小学校の児童が木工クラフト製作

4月26日、愛媛森林管理署管内滑床山国有林の滑床溪谷なめとこけいこくで、松野町等が主催する恒例の滑床山開きが行われました。

山開きには、愛媛県南予地方局、松野町、宇和島市、鬼北消防署等の関係機関や地元の松野東小学校と松野西小学校の三・四年生児童計28名も緑の少年団として出席し総勢70名余りが参加して厳かに神事が執り行われ、利用者の安全を祈りました。

その後、松野町から当センターに依頼のあった森林教室や木工クラフト製作をする予定でしたが、神事等が例年になく長引いた為、予定を変更し木工クラフト製作だけを万年荘内をお借りして実施しました。当センターで準備した五月人形の「熊と金太郎と鯉のぼり(スギの板を使用)」に児童がポスターカラーで自由に着色し、ヒノキの角材で作った台座にボンドで貼り付けるというものです。みんな集中して取り組み、思い思いの色で着色し完成させました。

ここ滑床溪谷では、5月21日に、松野東小学校の全校児童を対象に森林環境教育(学校行事名「森とも登山」もり)を予定しています。

なお、松野西小学校では毎年四年生児童を対象に年間を通した複数回の森林環境教育を計画しています。



万年荘内で木工クラフトの様子



山開きの神事の様子



完成した五月人形



万年荘内で木工クラフトの様子

松野東小学校の全校児童が滑床溪谷で森とも登山 (学校行事名)

愛媛県松野町立松野東小学校全校児童25名を対象に、足摺宇和海国立公園内の滑床溪谷で、森林や木に関する様々な体験学習（学校行事名、森とも登山）を5月21日に実施しました。

前日の雨で開催が危ぶまれましたが、当日はすっかり天候も回復し晴天のなかで実施することになりました。

当初の予定では午前中に登山でしたが、雨の影響が無いか学校とセンターで溪谷の遊歩道を確認してから行うこととし、午前の部と午後の部を入れ替えて木工クラフト製作から行いました。滑床アウトドアセンター万年荘内と広場で、ファルカタ材（桐の代用品）を使った犬やカエルの携帯ストラップ、ヒメシャラの輪切りを使ったカニのキーホルダー、サクラやミズメの輪切り小枝等を使った自由製作の中からそれぞれが作りたい物を決めて木工クラフト作りに挑戦し、カブトムシやフクロウ、木の鉛筆などの作品を全員が複数個完成させました。

次に、緑地広場で、「カモフラージュ(生き物たちの中には、周囲の木の葉や幹と同じ色をして、敵から身を守っているものがあります。テープに沿って置いたいくつかの人工物を探し出すゲーム)」を行い、全員が2週ずつ探し終わると全部見つけた児童の代表3名がリーダーとなって答え合わせをしました。

万年荘内で少し早めにお弁当を食べて、万年橋から雪輪の滝まで1.2キロメートル、高低差2百メートルを溪谷の新緑や出合滑や百岩などの溪谷美を楽しむとともに、途中、いろいろな樹木や植物などについて学習しながら登山し、目的の雪輪の滝に到着すると水量も増え普段より雄大な滝を見ることができました。

下山途中の林道端で見つけた葉っぱを使ってネイチャーゲーム「葉っぱジ

ジャンケン(葉っぱを使ってジャンケン遊びをすることで、葉っぱには色々な色や形・大きさなどの特徴があることに気づくゲーム。)」を行いました。

最後に児童より、「いろいろなネイチャーゲームや木工体験が出来て楽しかったです。この美しい滑床の自然をこれからも大切にしていきたいと思います。」とお礼の挨拶がありました。また、学校からは、「普段の学校では体験できない活動を通じて、滑床の自然の美しさや森林の大切さを知ったとても楽しい一日となりました。」と挨拶がありました。

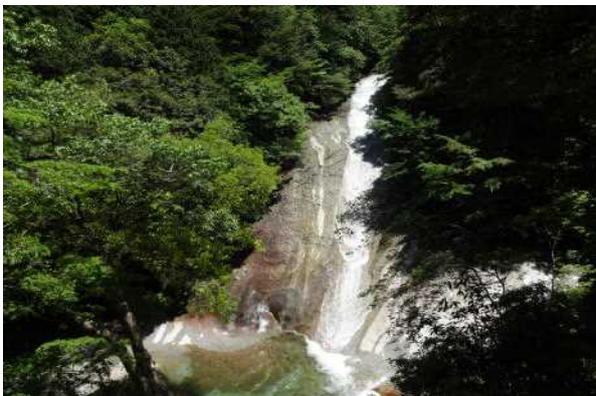
当センターとしても、今回の体験が児童の樹木や自然環境、森林等への興味や理解につながったものと考えます。



カモフラージュの様子



万年荘内で自由製作の様子



雪輪の滝に到着したよ



森とも登山の様子



葉っぱジャンケンの様子



雪輪の滝をバックに記念撮影

☆「滑床溪谷雪輪の滝（標高530メートル）まで登ったよハイ・ピース」

☆ 児童の感想文

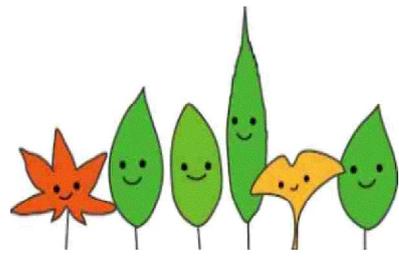
新緑のまぶしい季節になりましたみな様、いかがお過ごしでしょうか。
 先日は、森とも登山で大変お世話になりました。わたしは、雪輪の滝を見て感動しました。わたしは、特にお心に残っているのは、山に登っている時、めずらしい名前前の植物をたくさん見たことです。木林の事を、今まで以上に知れたので、よかったです。これからも、木林を大切にしたいと思います。
 これからも、どうぞ、お元気でいてください。
 五月二十三日
 松野東小学校 五年 藤岡 希帆
 四万十川 木林ふれあい推進センターの森へ

拝啓
 新緑のまぶしい季節になりました。みな様、いかがお過ごしでしょうか。
 先日は、森とも登山で大変お世話になりました。私は、班のみんなと雪輪の滝を目ざして登山するのが、心に残りました。この体験で、班のみんなとも仲よくなれたと思います。ストラップ作りでは、いねに作り方を教えてもらったおかげで、上手に作れました。ありがとうございました。
 これからも、どうぞ、お元気に過ごしてください。
 五月二十三日
 松野東小学校 五年 竹内 茉桜
 四万十川 森ふれあい推進センターのみな様へ





滑床溪谷にはいろいろな葉っぱがあったよ



☆ 「木エクラフト作品。。。いろいろ作ったよ」



シカ防護ネット柵の定期的なメンテナンス

これまでに、三本杭山頂周辺の自然再生地に設置したシカ防護ネット柵の総延長が延びるに連れ、台風等によるネットへの倒木や積雪による雪の重みが原因で支柱が折れたり、ニホンジカがネット内に侵入してネットに掛って壊す場合が増加したことから、定期的な点検・補修（メンテナンス）作業が欠かせません。



壊れたネット柵の補修作業の様子



落ち葉の堆積で弛んだ柵の補修作業



破れたネット柵の補修作業後



ネット柵に雷注意看板の設置

松野西小学校で年間を通じた森林環境教育を実施

愛媛県松野町立松野西小学校の四年生（本年度児童19名）は、平成19年度から「総合的な学習の時間」を利用して毎年度4～6回継続して森林環境教育を実施しており、今年度も支援要請を受け複数回実施する予定です。

その第1回目として、6月4日に「校庭の樹木学習」を実施しました。

先ず教室で校庭の樹木を観察するポイント等について簡単に説明し、校庭に出てマツやクスノキなどの樹木の幹や枝葉に触れさせ、木の肌の感触や葉の匂いを嗅がせるなどの体感を通して33種の樹木についての名前や特徴が理解出来るよう説明しました。

第1回目の終わりに、児童の代表から、「これからの森林学習がとても楽しみです。」等の感想がありました。

第2回目は、6月11日に「森林の働きと水はどこから水のゆくえ」と題して実施し、四・五年生の社会科に関連付けて、水をはぐくむ森林の大切な働きについて説明しました。次に、ヒノキの板に、ポスターカラーで科名と和名を書き、余白には思い思いのイラストを描いて樹木名板を完成させ、校庭の樹木にシュロ縄を使って取り付けました。

第3回目の6月20日は「木工クラフト学習」に取り組みました。

最初に、材料の木材は、古くから私たち日本人の生活になくてはならない存在で、木材には優れた性質があり暮らしを快適にしてくれる素晴らしいものですが、使いづらい点も持っているので上手な工夫をして色々な材料や原料に木材を使っていることを説明しました。

次に、作り方や注意点を説明した後、最後は、児童達が山川海で繋がっている生き物の壁掛け(自由製作)作りに挑戦しました。

コルクの木枠、カブトムシやクワガタムシ、魚などの各パーツ、動眼(動く目玉)、小枝等の大きさ形を自由に選んで、ボンドでヒノキの板に工夫しながら貼り付けることで作品を完成させました。

第3回目の終わりに、児童の代表から、「木は生活の中でいろいろ役立っていることがわかりました。」と感想がありました。

次回は2学期です。これらの年間活動を通して、森林の大切さ、木材利用についての理解を深めてもらいたいと思います。

☆ 壁掛け作ったよ





樹木名板の製作の様子



「水をはくぐむ森林の働き」の講義



樹木の立て札設置したよ



樹木名板を校庭樹木へ取付の様子



注目のCLT



木工クラフト製作の様子



タラヨウの葉っぱで葉書を出してね



☆「春から初夏へ鬼ヶ城山系は花盛り」



滑床山のオンツツジの花(5 / 22)



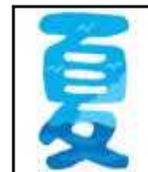
鬼ヶ城山ミツバツツジの花(4 / 19)



黒尊山のヤマボウシの花(6 / 25)



八面山のハイノキの花(5 / 22)



林野庁 四国森林管理局
四万十川森林ふれあい推進センター
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031

